

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・天候にも天大きく左右されず、売上や来客数共に伸びてきている。正月や節分、節句といった節目になるところをチャンスと考えて、積極的に挑戦していければ結果がでる。
	やや良くなる	衣料品専門店（店長） 旅行代理店（支店長）	・原価が以前より大分落ち着いてきた。 ・2、3月については、当社が学校関係を取り扱っている関係上、1月より売上が良く、その他に関しても一定の予約を受けているので良い。また、良い材料としては、海外の燃油サーチャージが1月より下がるので、その影響もあり個人客の海外旅行に期待ができる。
	変わらない	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・暗い話ばかりで客が我慢している状態なので、売手のほうも何をすれば良いのか、全く動きが取れない。
		百貨店（販売促進担当）	・今後も消費の低迷の回復は見込めず、特に高額品の売行きの不振は更に進む。客数も減り、店頭の売上が増加する予想はなかなかできない。
		コンビニ（店長）	・一般的には景気が悪くなって行くような感覚があるが、客は必要な物を買っていくことが多くなっており、そんなに変わらない。
		コンビニ（店長） 乗用車販売店（営業担当）	・当業界では、プラスマイナスゼロである。 ・明るい兆しが全くない。
		乗用車販売店（販売担当）	・景気の悪い状態が来年はどのくらい変わるのか、その予測が全くつかない状態である。とにかく、どんな手を打っていけば車が売れていくのか、全く先が読めない状態である。こんな状態が当分続く。
		自動車備品販売店（経営者）	・特に良くなる理由も、悪くなる理由も見つからない。
		住関連専門店（仕入担当）	・季節品の消化状況も悪く、今後は処分のために利益率の更なる低下を見込まざるを得ず、厳しい環境は続く。
		観光型ホテル（営業担当）	・相変わらず業績は低迷している。年末の様子では、海外旅行をあきらめて国内旅行に変える客が結構見受けられる。相対的には変わらない。
		ゴルフ場（従業員）	・来場予約は前年と同じである。
		設計事務所（所長）	・ここ2、3か月受注件数が少ない。年明けに新春キャンペーンもあるので、その受注を伸ばすべく、伸び悩んでいる集客数をぜひ伸ばしたい。
	やや悪くなる	一般小売店〔金物〕（経営者）	・今、良くなる要素が何もない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・雇用削減、人員整理の不安を抱えている消費者には商品の購買意欲など二次で、生活の安定、収入増を考えている様子がうかがえる。卒業、進学等のシーズンを控え、必要とされる物は動くであろうが必要最小限の消費しか望めず、売上予算さえ組めない。
百貨店（営業担当）		・過去に経験したことのないような販売不振である。特に来年度には今の影響が出ると思われ、来年1年間は回復の見通しは厳しい。	
百貨店（販売促進担当）		・クリアランスの時期に入るが、最近の傾向における価格訴求品へのレスポンスを考慮すると多少の期待はできるものの、その後の春物正価品の動きについては、依然として不透明である。	
スーパー（統括）		・地域経済の核となるIT関連企業が、生産規模の縮小、人員削減を実施してきており、今後の売上減少、利益減少は回避できそうにない。	
乗用車販売店（営業担当）		・自動車は必需品として位置付けられているが、今までのようにお金はかけられず、最小限の出費に抑えられ、新車等の台替えが延び、販売量の減少がしばらく続く。	
高級レストラン（店長）		・近くの大型集客施設が、2箇所ほど数か月以内に相次いで閉鎖されるため、今後、周辺店舗への影響がかなり深刻である。	
タクシー運転手		・車椅子車や寝台車等の福祉車両の利用は堅調であるが、景気の後退で、一般のタクシー利用客は減少する。	
遊園地（職員）		・所得の減少によるレジャー費支出の抑制、出控え等が懸念される。	
ゴルフ場（従業員）	・来客数に関しても、予約状況が伸びず、また、単価も依然横ばいの低価格路線となっている。		

	ゴルフ場（業務担当）	・1、2月以降の予約の取り込み、引き合いが大分減少しているため、景気が不安定なのが取り込みが厳しくなる。
	ゴルフ場（支配人）	・来場客との会話は景気の話ばかりで、明るい話が少ない。
	競輪場（職員）	・他の競輪場、競馬場、競艇場等も売上が減少している。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] （職員）	・経営環境的には仕入れその他も厳しくなっているが、このところ燃料の仕入原価が少し落ち着いてきている。商品の内容変更のようにまだまだ改良、改善するところは多いが、全体的な環境はやはり悪化する。
悪くなる	商店街（代表者）	・テナントを募集しても、一向に入居者が現れず、ますます苦しい時期になりそうである。
	一般小売店〔乳業〕 （経営者）	・自動販売機を設置している工場の休業日が増加しており、景気が悪化が続いていく。
	スーパー（総務担当）	・商圏内に工場が多く、2～3か月で雇用が回復されるとは思えない状況である。一方で、競合がわずかではあるが店舗し、少ないパイを奪い合う構図が一層進んでいる。店だけの販売努力では、回復するのは困難な状況である。
	スーパー（総務担当）	・12月は、衣料品においても年間を通じて非常にウェイトの高い月であるが、中盤以降急に売上、販売量共にブレーキが掛かっている状況である。今後も非常に厳しい状況になる。
	衣料品専門店（経営者）	・マスクミ等で景気が悪い、景気が悪いと言っているため、景気が悪くない人まで悪くなっていく。
	乗用車販売店（販売担当）	・以前は販売だけだったが、最近は整備や用品関係等でも来客数が減少している。先月よりも今月、今月よりも来月と減っていく。
	乗用車販売店（管理担当）	・輸出企業や製造業の大幅な収益悪化と、それに伴う失業者の急増等により消費の低迷が続く。
	一般レストラン（経営者）	・客自身が儉約傾向にある。
	一般レストラン（経営者）	・新年会の予約も全くない。仲間での話も全く聞こえてこない。
	スナック（経営者）	・今の状態ではとにかく先が見えない。安心して生活ができない。したがって、財布のひもを締めるという悪循環である。
	都市型ホテル（支配人）	・団体及び個人の予約状況は、大変悪い状況となる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊関係では、1月は前年比で予約状況が700名マイナス、2月は1,000名以上のマイナスという状況にある。また、宴会関係は賀詞交歓などで毎年利用している客が今回は無しというところが増えつつあり、企業が動かない傾向は続く。
	旅行代理店（経営者）	・消費マインドが大幅に減少し、悪化している。これ以上良くなる要素は今のところ見当たらない。
	旅行代理店（副支店長）	・受注も減っているが、受注している物も取消しになるケースが増える可能性があり厳しくなっていく。
	タクシー運転手	・今月は忘年会等で少しは動きがあったが、相変わらず電車から降りてくる人のタクシー利用がなく、この状況が当面続く。
	タクシー（経営者）	・不景気になると、真っ先にタクシー代が節約されるので、この先も悪くなる。
	通信会社（営業担当）	・周りの人たちと話をしていても明るい話もなく、あきらめ感が漂っている。
	通信会社（営業担当）	・来客数を始め、どれを見ても全然良くないのが現状であり、冷え切っているという言葉がぴったり当てはまる。
	観光名所（職員）	・観光への依存率が高く、不景気の影響をまともに受けている。旅館、ホテル、別荘販売などでは倒産が相次ぎ、雇用不安を増幅させている。
	美容室（経営者）	・これから先3月に向かって、特に2月は非常に来客数が落ちる状況になる。良い話が何も出てこない状況である。
	美容室（経営者）	・11月ごろから急激に売上が冷え込み、出来る事はすべてやり尽くし手の打ちようがない。あきらめないでいろいろやるたびに良い結果は出ない。むしろ動かないほうが良いと思うような状況では、この先の見通しはかなり厳しい。
	設計事務所（経営者）	・単価の低下、発注件数も減少しており、この先の動向がいまだに読めない。
	設計事務所（所長）	・他業種の方との話でも、あまりの急激な変化にどうしようもないとの声が多い。
	住宅販売会社（経営者）	・大手企業がこれから大幅な人員削減をするので、客が住宅を求めなくなってくるため、来年はもっと悪くなる。

		住宅販売会社（経営者）	・3月にかけ、マンション需要の更なる落ち込み、連鎖的な倒産も増えることが予想されている。
		住宅販売会社（経営者）	・景気悪化の影響で住宅ローンの審査が厳しくなっていき契約に結び付かない。
企業 動向 関連	良くなる		
	やや良くなる	-	-
	変わらない	プラスチック製品製造業（経営者）	・現在の状況が3か月くらいは続くと予想している。
		経営コンサルタント	・現状、経営のキャッシュフローの改善につながる好材料も、市場環境、顧客ニーズ、個人消費などの悪材料に打ち消され、見通しが立たない。
	やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・景気が悪くなり、更に財布のひもは固く、より安い商品に移る可能性があり、原油高で利益を取られ、回収もできないままの状態であるが、取引先スーパーからは原油価格下落のため、値下げを要求されており、非常に厳しい局面を迎える。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・受注量、販売量、取引先の様子は悪いところと良いところと半々くらいなので、これからは変わらないか、やや悪くなる。
		輸送業（営業担当）	・現在の株価低迷等の景気悪化で、多方面の物量は落ち込むと予測している。先行きは入学、新社会人のシーズンを迎えるまでは良い材料が見当たらず、当面は厳しい。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ガソリンスタンドの話では、毎年この時期は灯油の配達で大忙しだったものが、今年は昨年より灯油価格が低下したにも関わらず、忙しさはなく、節約が徹底してきているのかもしれないと話していた。大手建設会社では全従業員の給与が25～30%カットされ、生活が厳しくなると話している。
	悪くなる	食料品製造業（営業統括）	・長期化が予想される不況の影響で、特にワインのような商品は敬遠されるようになり、苦戦を強いられる。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・会社も工場も全体的に冷え切っている。良い会社が1社でもあれば良いが、全体的に大変な様子である。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・取引先の製造業や建設業関係では、ほとんど仕事がないということなので、かなり厳しい状況が見込まれる。
		化学工業（経営者）	・受注が壊滅的に減ってきている。このままだとワークシェアリングとなりそうである。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・店頭販売品、特注品の受注予想が立たず、先行きが全く不透明である。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・通常この2、3か月は需要期となるが、現状からするとかなりの落ち込みになる。
金属製品製造業（経営者）		・得意先の仕事量が少なくなるという話を聞いている。新しい仕事が出ると言われながらも、なかなか出てこない。	
金属製品製造業（経営者）		・取引先でも、1年先の見通しがつかない状況である。	
一般機械器具製造業（経営者）		・1～3月期に取引先各社は更に発注を絞ってくる計画である。残業ゼロや有給休暇の消化といった対策を取り、大幅な赤字が見込まれる。	
一般機械器具製造業（経営者）		・1月から受注が、自動車部品については30%、建設機械部品は90%減となり、2月以降は更に悪化する恐れがある。	
一般機械器具製造業（経理担当）		・今までも、海外生産はあったが、大量に海外生産することになり、国内生産はほとんどなくなる。	
電気機械器具製造業（経営者）		・全く仕事の見通しが無い。大幅に縮小せざるを得ない状況である。	
電気機械器具製造業（経営者）		・取引先が年末に来訪したが、非常に苦戦しているということである。	
電気機械器具製造業（経営者）		・自動車関連の仕事が激減してしまい、自社でも1月から週休3日にしなければ無理かと考えている。また、設備関連の部署では、今年度内は何とか仕事はあるが、来年度の見通しは非常に厳しく、もしかしたら無いという状況も考えられ、下請業者にとっては相当厳しい年になりそうである。	
電気機械器具製造業（営業担当）	・世界的な不況の余波が身近に押し寄せてきており、春以降の受注の見通しが立たない。		
輸送用機械器具製造業（総務担当）	・取引先の相当のコストダウン要請を受け入れてきたが、非常に収益状況が悪くなっている上に、今回の減産基調のなか、大幅な減益は避けられない。非常に資金ショートを起こしやすい状態になっている。		
その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・クリスマス商戦も人出はあるものの売上が減少している。来年上半年も希望は持てない。		

		建設業（総務担当）	・建設業の倒産は相変わらず多く、来年はもっと厳しくなる。自動車関連産業の設備投資は先送りや維持工事も行わない等の状況であり、民間工事はなくなる恐れがある。
		金融業（総務担当）	・なるべく年度内予算を使わないと言われており、購入する物品も減ることが予想される。
		広告代理店（営業担当）	・年度末までの販促予算を大幅に削減している。前年比4割の予算が減っている。
		社会保険労務士	・各事業所で経費削減を進めているなかで、賞与の支給額も減っており、厳しい状況が続く。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・今後ますます、経済収縮が進み、設備投資が急激に抑制される。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない		
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・新規求人数及び有効求人数が12か月連続して前年より下回っている。
		職業安定所（職員）	・不況の影響で企業の採用意欲は低下しており、新規求人数はほとんどの産業で前年より減少している。雇用情勢は厳しさを増すものと思われ、景気に与える影響は大きい。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	・企業ガイダンスも2010年度に向けスタートしている。例年より参加企業数は減少し、参加学生が増加している。来年になってから製造などを中心に業績が更に悪くなり、最悪の場合、内定取消しなども予測されるほど次年度以降の新卒求人枠は縮小する見込みである。
悪くなる		人材派遣会社（経営者）	・自動車関連は生産関係の見込みが立たないので、請負にしても派遣にしても先が見えない。また電子、電気関係も先行きの不透明というのが浮き彫りとなっている。衣料品関連の販売はちょっと期待ができるが、不透明感が強い状況である。
		人材派遣会社（営業担当）	・今回の不況は雇用を直撃している。早く、深く、広い印象があり、負の連鎖は今後も広がりを見せる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・来年度の求人募集の見込みを電話で問い合わせているが、受注が極度に減少している。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・先行きの見えない状況なので、更に人員削減をする企業が増加し、雇用は更に悪化していく。
		職業安定所（職員）	・12月末で派遣労働者の契約を解除したり、契約を更新しないといった情報が多数あり、非自発的の離職者が増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	・企業収益や生産量が大幅に減少している。それにより、雇用調整等で休業を計画している企業が増加している。来年3月までに減産や人員整理を予定している企業が多い。
		民間職業紹介機関（経営者）	・製造業を中心に、派遣社員の契約打ち切り、契約社員の雇止めから、正社員のリストラを実施中、あるいは計画中、検討中の企業が激増している。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・正社員を目指す活動が活発になってきているが、現実には新卒採用枠の減少、内定先企業の倒産なども含む内定の取消し、派遣会社への就職活動の見直しなどが起こっており、実社会はこれに対応しきれない。ますます雇用状況の悪化が見込まれる。